

個別事業(取組)評価				
事業No.	17	施策の柱への位置付け	柱③ 幼児教育改革	
事業名称	園内研修支援事業		担当課	幼保支援課
			当初予算額(千円)	1,597
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	1,157

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 乳幼児期にふさわしい育ちや学びに向けて、より質の高い保育・教育を実施する必要がある。 ※保育所保育指針の改定・幼稚園教育要領の改訂(H20.3)	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 現状分析の結果については、9月に実施した中間点検・評価等で定期的に検証を行っている。
		【要因】 ◆ 各市町村単独では、保育・教育の質を高めるための専門性を持った職員の配置が難しい。 ◆ 保育所・幼稚園等では、臨時職員やパート職員が多い。 ◆ 研修のための時間保障が難しい。 ◆ 保育所保育指針の改定、幼稚園教育要領の改訂に伴い、より保育教育の質の向上を図っていく必要がある。 ※保育所保育指針の改定・幼稚園教育要領の改訂(H20.3)	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 要因分析の結果についても、9月に実施した中間点検・評価等で定期的に検証を行っている。
②	目標(Outcome)	◆ どこにいても質の高い保育・教育を実現するため、保育所・幼稚園等が実施する園内研修を支援し、園内研修の充実を図る。 【目標数値】 新しく公開保育を実施する園数 14園 ◆ ブロック別研修会を実施し、ブロック内の保育所・幼稚園等の保育者が集うことにより、地域におけるネットワーク化と保育・教育の充実を図る。 【目標数値】 公開保育への参加市町村率 100%	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 園内研修の充実を図るうえで、平成22年度に達成すべき目標を設定した。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 園内研修 ・平成22年度新しく公開保育を実施した園は19園であった。 ・園内研修支援アンケートにおいて、園内研修を実施した園の85%が、保育を進めていくうえで大変参考になったと回答し、園内研修の充実を図ることができた。 ◆ ブロック別研修支援 ・4市町村の保育所・幼稚園が、公開保育日に行事などが重なり、参加市町村率が87.9%に留まった。しかし、前年度と比べると参加市町村率が3.1%、参加者数が158名、それぞれ伸びており、地域におけるネットワーク化が図られつつある。 ・公開保育後に実施したアンケートにおいて、93.2%が協議内容などが良かったと回答し、近隣の保育所・幼稚園(ブロック内)による研修の充実を図ることができた。
		【検証(比較)方法】 ◆ 園内研修支援 ・新しく公開保育を実施する園数 ・園内研修実施後のアンケート ◆ ブロック別研修支援 ・公開保育への参加園率 ・公開保育後のアンケート	
③	実施内容(Input・Output)	◆ 園内研修への支援 ・指導主事や幼保支援アドバイザーが、保育所・幼稚園等が実施する園内研修に参加し、保育参観や研究協議を通して支援する。 ◆ ブロック別研修会への支援 ・県内を14に分けたブロック単位で研修実施園を決定し、園内研修及び公開保育を実施する。 ・公開保育には、同一ブロック内の保育士・幼稚園教員等が参加し、保育参観と研究協議を行う。	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 園内研修への支援 ・園内研修実施回数73回 ◆ ブロック別研修会への支援 ・研修実施園 13園 ・公開保育に至るまでの園内研修実施回数 19回 ・公開保育実施回数 14回 ・公開保育参加者数271名 (保育所241名・幼稚園13名・その他17名)

総合評価と今後の方向	目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 ◆ 平成22年度に作成し、全保育者に配付した「指導計画・園内研修の手引き」について県内5ブロックで説明会を行うとともに、園内研修など、手引きの活用に向けた啓発・普及を進め、就学前の保育・教育の充実を図る。 ◆ 保育所・幼稚園等のニーズを踏まえ、園が主体的に取り組むことのできる園内研修の方法や指導計画の作成等具体的な支援を引続き行うことにより、園内研修支援の充実を図る。
	【総合評価】 ◆ 新しく公開保育を実施した園は目標値の14園を超える19園であった。また、本事業における研修支援は、実施回数106回(園内研修支援73回・ブロック別研修支援33回)、参加者数954名(園内研修支援538名、ブロック別研修支援416名)と前年度実績を超え、保育所・幼稚園等での研修の取組が積極的になってきている。 ◆ ブロック別研修支援では、4市町村の保育所・幼稚園が、公開保育日に行事などが重なったため、参加市町村率は87.9%に留まった。しかし、前年度と比べると参加市町村率が3.1%、参加者数が158名、それぞれ伸びており、地域におけるネットワーク化が図られつつある。 ◆ 園内研修支援アンケートでは、実施園の85%が、保育をするうえで大変参考となったと回答しているとともに、ブロック別研修支援の公開保育後のアンケートにおいても93.2%が協議内容などが良かったと回答しており、保育・教育の質の向上に向け本事業が効果的であった。	